

# 租税教育の事例集（中学校版）

～租税教育の充実に向けて～



平成 27 年 4 月 発行

（令和 5 年 11 月 改訂）

租税教育推進関係省庁等協議会

## ○はじめに

### 1 租税教育は、なぜ重要なのでしょう

国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものです。

憲法で国民の義務に掲げられているように、国民が教育を受け、勤労し、税を納め、持続可能な社会を作っていくことは、民主国家の維持・発展にとって欠かせないことであり、次代を担う児童・生徒等が、国の基本である税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利・義務を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考えることは、民主国家の維持・発展にとって極めて重要なことであると考えられます。

また、教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」（第1条）と定めており、教育の目標については、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」（同法第2条1項3号）と定めています。社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、税を通して社会や国の在り方について考える租税教育は、正に教育基本法の理念に基づいた教育であると考えられます。

### 2 租税教育の充実に向けた取り組み

文部科学省、総務省、国税庁は、平成23年に租税教育推進関係省庁等協議会（いわゆる「中央租推協」）を発足させ、賛助会員である日本税理士会連合会の協力も得ながら、租税教育の推進に取り組んでいます。

全国各地においても、教育委員会など学校教育関係者、地方自治体、国税局・税務署、税に関係する民間団体の関係者の方々などから構成される租税教育推進協議会等を中心として、租税教室（出前授業）の開催や税の作文募集のみならず、例えば、職業体験施設における税務署の仕事や納税の体験、鉄道やバスに乗り税の関連施設を探す移動租税教室、教員を対象とした確定申告体験、税理士が母校で行う租税教室の開催など、様々な工夫を凝らした租税教育の取り組みが実施されています。

### 3 租税教育の事例集の活用について

平成27年4月、中央租推協では、教員等の意識啓発を図ることを目的とし、全国で行われている租税教育の優れた取組事例などを基に、監修者の先生方の御指導・御協力をいただき、事例集を作成しました。

その内容は、学習指導要領及び同解説の記述を踏まえたものとし、その構成は、①税の授業の経験が少ない方には創意工夫を生かした授業づくりに活用できる学習指導案を、②税の授業の経験が豊富な方には授業づくりのヒントとなるページ（素材やそのつかませ方を例示した教材化の視点）を、③更には各学校段階の授業において取り上げたい要素を一覧に整理した体系図を添付するなど、租税教育に関する様々な立場の方に広く御活用いただけるつくりとしています。

租税は、社会との一つの接点であり、児童・生徒に社会と自分との関わりを具体的に理解させる観点から、社会科、公民科以外の時間にも取り扱うことが考えられます。この事例集を広く関係者の方々に周知・配布していただき、よりよい租税教育の授業づくりのため、関連する教科・時間などにおいても、是非、御活用いただきますようお願い申し上げます。

## ○御利用に当たっての留意点

- ・各事例の学習内容や指導方法は、税についての学習内容や方法を限定したものではなく、税に関する理論等を定めたものでもありません。児童・生徒の実態等に応じて、創意工夫を生かして御活用願います。
- ・体系図は、租税教育の学習内容等を限定、又は、取り上げる順番を固定するものでもありません。
- ・事例集に記載している「副教材」とは、各地域の租税教育推進協議会等が、地域の情報を取り入れ、工夫して作成している補助教材を指しますが、各事例の学習内容に全て対応しているものではありません。
- ・本事例集は、平成29年3月に改訂された小・中学校の学習指導要領及び平成30年3月に改訂された高等学校の学習指導要領に基づき作成していますが、本文中の数値については、本事例集改訂時における最新の数値となっています。

# 目次

## 【中学校】

### 事例1 「私たちの生活と税の役割」 . . . . . 3

➢外国の事例を参考に、消防など公共サービスの費用を賄う税の役割を考える授業例

### 事例2 「税の仕組みや種類と私たち」 . . . . . 7

➢税の意義や役割、基本的な税の仕組みを学ぶことに重点を置いた授業例

### 事例3 「財政の現状と課題」 . . . . . 9

➢税金を納めるシミュレーションを通して、グループワークにより公平な社会を考える授業例

## 【参考】

### 参考1 租税教育の体系図 (学校段階と授業において取り上げたい要素) . . . . . 13

### 参考2 中学校の学習内容と教材化の視点の例 . . . . . 14

(国税庁ホームページ「税の学習コーナー」の紹介)

## 【紹介】 学校段階ごとに多く行われている授業や特色ある取り組みの例

- ・ 中学校では、動画を視聴し、税の必要性を理解するほか、グループ討議などを行い、日本の財政の現状や課題について考える授業などが多く行われています。

## 【中学校】事例1「私たちの生活と税の役割」

ポイント▶ 外国の事例を参考に、消防など公共サービスの費用を賄う税の役割を考える授業例

### ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野（B 私たちと経済（2）国民の生活と政府の役割（ア（イ）、イ（イ）））

### ○単元の目標

- ・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員（税の負担者）として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動（財政）に関心を持ち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画（5時間・各1時間）

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<本時>

第2時 税の仕組みや種類と私たち<事例2>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<事例3>



### 1 本時の目標

- ・税の役割、納税の義務を果たすことの大切さを説明できる。
- ・税の使いみちに関心を持ち、自分との関わりについて、自分の考えを表現できる。
- ・異なる意見の存在を前提に、議論に積極的に参加し、自分の考えを述べるができる。

### 2 本時の展開（1／5時間）

租税の種類・役割・課題

税の使いみち

国民主権

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点
導入	<p>1 テネシー州サウスフルトン市の消防の仕組みから考えよう。</p> <p>(1) テネシー州サウスフルトン市の消防の仕組みを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サウスフルトン市で起こった火事で、消防がBさんの家にだけ消火活動を行った理由について予想し、ワークシート「私たちの生活と税の役割」の課題1へ記入する。</li> <li>・サウスフルトン市の消防の仕組みの説明を聞き、市の消防サービスを受けるには毎年75ドルの費用を支払う必要があること、市長の「消防活動は市が提供するサービスでサービスを受けるか受けないかは住民の自由である」という考え方を知る。</li> </ul> <p>(2) 日本とサウスフルトン市との違いを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では、消防活動の費用は無料である。</li> <li>・日本では、消防活動の費用は税で賄われており、消防活動は納税の有無にかかわらず行われる。</li> </ul> <p>→ 国民の生命を守る消防などの公共サービスは国民みんなに広く提供されており、その費用は税という形で社会の構成員である国民が広く分かち合って分担していること、憲法には納税の義務があることを理解する。</p> <p>2 単元を貫く問いの設定と本時の学習課題の把握</p> <p>【単元を貫く問い】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入なので自由な発言を引き出し、雰囲気盛り上げる。</li> <li>・生徒の意見を整理し、公共サービスの負担の在り方や納税の義務などに関わる問題であること、日本は受益＝負担ではないこと、生徒も社会の一員として消費税を負担していることを示す。</li> <li>・「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に照らしたときに、公共サービスと税が果たす役割が重要であることを踏まえ、単元を貫く問いを設定する。</li> </ul>

【本時の学習課題】

身近な生活と税との関わりを通して、租税の意義と公共サービスの在り方について考えよう。

- 3 身近な生活と税との関わりを考えよう。
- ・生徒の一日の生活の例を通して、自分たちの生活と税の関わりに関心、税は自分たちの暮らしを支え、生活に欠かせないものであることを理解する。
  - (起床) 洗面や調理に使う水・上下水道の整備⇒(登校) 学校に通うための道路や信号⇒(授業) 学校など教育施設の建設、机・椅子・教科書⇒(部活動) 陸上競技場や野球場などの施設作り⇒(だんらん・夕食) 安全な食品をつくる農業・漁業の支援⇒(就寝) 夜の安心、日々の安全を守る警察や消防
- 4 租税の意義について考えよう。
- ・もし、国民が税金を納めなかったら(納税の義務を果たさなかったら)、どのようなことが起こるか考える。
  - ・「街・地域」では、どのような公共施設や公共サービスがあるのかについても考える。
  - ・ワークシート「私たちの生活と税の役割」の課題2に記入後、意見交換をし、納税の義務を果たすことの大切さを理解する。
- 5 公共サービスの在り方について考えよう。
- (1) 救急車の出動回数の増加に対して有料化すべきとの意見があることについて考え、ワークシート「私たちの生活と税の役割」の課題3に記入し、賛成か反対か理由も合わせて意見交換する。
- ・「誰か不当に不利益を被ることにならないか」、「逆の立場でも受け入れられるか」など、公正であるかを考える。
  - ・意見の異なる他者に対して粘り強く自分の意見を述べ、追加調査など、自らの学習の調整を行う。
  - ・政府がどのような公共サービスを提供するのかは、最終的に住民や国民の意思(選択)により決定されることを理解する。
- (2) 税の使いみちと私たちの関わりについて考えよう。
- ① 税の使いみちは誰が決めているのだろうか？
- ② 過去の選挙の争点を調べ、税との関わりを考えよう。
- 選挙の争点の多くは、税の使いみち(どのような政策を行うか)や税の集め方(その財源をどのように確保するか)に関わる問題であることに気付く。
- ・税の使いみちや集め方は、国民が選挙により選んだ代表者が国会で決めていることを理解する。
- ③ 税の使いみちと私たちとの関係についてまとめよう。
- ・主権者である国民が社会や政治、税の在り方や使いみちなどに関心を持ち、代表者の選出(選挙)を通してその議論に参加するなど、自ら社会や政治に参画する意識をもつことの大切さを理解する。
  - ・自らの代表が国の支出の在り方を決めることと自らが国を支える税を負担しなければならないことは、表裏一体であることを理解する。

- ・副教材やイラストなどを活用する。
- ☆国税庁HP「税の学習コーナー」(発展編)を活用し、国民一人当たりの警察・消防費(約42,201円・令和3年度)など具体的な金額を示めす。
- ・学校や警察がどうなるか、具体例を提示して思考の足場を組ませる。
- ・税がなければどのような社会になるかを考えさせる。
- ・政府は市場の働きに委ねることが難しいサービスを提供していることを示す。
- ・税負担が当たり前とされる公共サービスを取り上げ、生徒自身が税の負担者として公共サービスの負担の在り方などについて考え、意見をもつことの大切さを示す。
- ・「税の使いみちは誰が決めているのだろうか?」という問いに対し、自由に意見を出すよう促す。
- ・総務省・文部科学省作成副教材「私たちが拓く日本の未来」活用のための指導資料(指導上の政治的中立の確保等に関する留意点)の記載に留意する。
- ☆新聞記事
- ・選挙に関する新聞記事を活用し、地方創生、教育・子育て、福祉、復興、増税・減税などのヒントを出す。

- 6 まとめ
- ・公共サービスの費用を賄う税の意義や役割と私たちの関係について、本時の学習を基に考えをまとめる。

### 3 評価規準

**【知識・技能】**

税の役割、納税の義務を果たすことの大切さを理解している。

**【思考・判断・表現】**

公共サービスの負担の在り方について「公正」に着目して考えることができている。

**【主体的に学習に取り組む態度】**

異なる意見の存在を認め、必要に応じて自分の学習を調整するなど、粘り強く学習に取り組んでいる。

○教材・資料（ワークシート）

学習日：令和 年 月 日

「私たちの生活と税の役割」

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

2010 年秋にアメリカのテネシー州サウスフルトン市で起こった本当の話です。

Aさんの家が火事になりました。Aさんは急いで消防署に電話をしました。

ところが、火事が起こっているにもかかわらず、消防隊はAさんの家に向かおうとしませんでした。消火活動が行われないまま、Aさんの家は、どんどん燃えていきました。やがて、隣のBさんの家へと、火は燃え広がっていきました。

隣のBさんの家に火が燃え移って、初めて消防隊が出動しました。

現場に到着した消防隊が消火活動を行ったのは、火が燃え移ったBさんの家だけでした。初めに火が出たAさんの家に対して、消防隊は消火活動を全く行いませんでした。

結局、Aさんの家は全焼しました。

(課題1) 消防隊がAさんの家には何もしないで、Bさんの家だけに消火活動を行ったのはなぜでしょう。

予想

正解は・・・

(課題2) もし、税金を納めなかったら、どのようなことが起こるでしょうか。

学校では・・・

警察では・・・

街・地域では・・・

(課題3) 「救急車の出動回数の増加に対して有料化すべき。」との意見について考えよう。

## 【中学校】事例2「税の仕組みや種類と私たち」

ポイント➤ 税の意義や役割、基本的な税の仕組みを学ぶことに重点を置いた授業例

### ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野（B 私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割（ア（イ）、イ（イ）））

### ○単元の目標

- ・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員（税の負担者）として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動（財政）に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画（5時間・各1時間）

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

第2時 税の仕組みや種類と私たち<本時>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<事例3>

#### 1 本時の目標

- ・税の種類や基本的な仕組みと、主権者である私たちが税に関心をもち、自分の考えを表現できる。
- ・税の納め方や公平な税の考え方に興味をもち、自分の考えを表現できる。

#### 2 本時の展開（2／5時間）

租税の意義・役割・課題


税の使いみち

税の種類

国民主権

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点 教材・資料(☆)
導入	<p>1 【前時の復習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税は、公共サービスの費用を賄うものであり、みんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくための費用は、みんなが広く公平に分かち合うことが必要である。このため、税は「社会の会費のようなもの」である。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>税の種類や基本的な仕組みについて知り、税の集め方について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公平」、「社会の会費のようなもの」などのキーワードは板書やプロジェクターで示し、認識の共有化を図る。</li> <li>・前時の学習内容を想起させ、単元を貫く問い（持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。）のために、本時は税の種類や基本的な仕組みについて学習することを伝える。</li> </ul>
展開	<p>3 税の種類や基本的な仕組みについて知ろう。</p> <p>(1) 会社員の一日の生活の例から、どのような税が関わっているのか、どのような税の種類があるのかを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【家】住民税(住むこと)、固定資産税→【会社】法人税、所得税(給料)→【外出】自動車税、ガソリン税(揮発油税)、消費税(買い物)、相続税(葬儀場)→【帰宅】酒税、たばこ税等</p> </div> <p>(2) これらの税が、どこに納められているのかを知ろう。</p> <p>(3) これらの税が、どのように納められているのかを知ろう。</p> <p>【所得税】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→会社員の所得税は、会社が毎月給料から差し引き、年末に1年間の税額の過不足を精算する（年末調整）。</li> <li>→事業者などの所得税は、1年間の所得や税額を自分で計算し、確定申告の時期に申告・納税する。</li> </ul>	<p>☆イラストなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活と税が密接に関わっていることを示す。</li> <li>・生徒も消費税を負担している税の負担者であることを示す。</li> <li>・国税と地方税があることを知らせる。</li> <li>・会社員の場合も、副業等の収入については確定申告が必要であることを気づかせ、自分が不利益を被らないためにも、税についての知識を持ち、正しく納税することが必要であることを示す。</li> </ul>



<p>展開</p>	<p>【消費税】</p> <p>→生徒は、物を買う都度消費税を支払っているが、税務署への申告・納税は、お店が確定申告の時期などに行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得税など国税は、自己の所得等を最も正確に把握している国民が自ら税額を適正に計算し申告と納付を行う申告納税制度（自発的に納税義務を履行する民主的な税制度）であることを理解する。</li> </ul> <p>4 「公平な税」の考え方について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の公平とは、税を負担能力に応じて分かち合うという意味であり、公平には2つの大きな考え方があることを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 等しい負担能力のある人（経済力が同じ人）は等しい負担をするという考え方（消費税など）</li> <li>→ 負担能力の大きい人はより大きな負担をするという考え方</li> </ul> </li> </ul> <p>〔所得税や相続税などは、所得など課税対象額が多くなるほど税率が高くなる仕組み（累進税率）。〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-Tax など ICT を使って確定申告や納税ができることを示す。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税のように負担者と納税者が異なる税は間接税、所得税のように負担者と納税者が一致する税は直接税に区分されることを理解する</li> <li>・「公共サービスの費用は、広く公平に分かち合う必要がある」と学習したことを再確認する。</li> <li>・公共サービスの財源を賄えるよう、また、負担が公平になるよう多くの税の種類が組み合わせられていることを示す。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>5 本時のまとめとして、「税の種類や基本的な仕組み、税の集め方について考えたこと」を自分の言葉で表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の言葉でまとめるように伝える。</li> </ul>

### 3 評価規準

#### 【知識・理解】

税の種類や基本的な仕組みと、主権者である私たちが税に関心をもつことの大切さを理解している。

#### 【思考・判断・表現】

税の納め方や公平な税の考え方に関心を持ち、自分の考えを表現している。

## 【中学校】事例3「財政の現状と課題」

ポイント▶ 税金を納めるシミュレーションを通して、グループワークにより公平な社会を考える授業例

### ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野（B 私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割（ア（イ）、イ（イ）））

### ○単元の目標

- ・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員（税の負担者）として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動（財政）に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画（2時間・各1時間）

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

第2時 税の仕組みや種類と私たち<事例2>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<本時>

### 1 本時の目標

- ・財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務についての理解を基に、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念と照らし合わせながら、その在り方について考察・構想し、表現することができる。
- ・社会の一員（税の負担者）として、国・地方公共団体の経済活動と財政に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとすることができる。

### 2 本時①の展開（4／5時間）

租税の意義・役割・課題

税の使いみち

公平な税

財政の目的

財政の現状と課題

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点
導入	<p>1 【前時の復習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の生活と福祉の向上を図る上で（財政は重要な役割を果たす上で）、財政は重要な役割を果たしている。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題の把握</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>シミュレーションを通して、公平な社会の在り方について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容を想起させ、単元を貫く問い（持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。）に向けて、本時はシミュレーションを通して考えることを伝える。</li> </ul>
展開	<p>3 シミュレーションを通して考えよう。</p> <p>(1) シミュレーションの準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全体をワークシート（前提）①のA～G 7グループに分け、各グループの立場を決める。</li> <li>・ワークシート（前提）の各人の立場、収入と願い、全体で必要な予算総額を理解する（①～④）。</li> </ul> <p>(2) シミュレーションをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（前提）④の予算総額を念頭に置き、各人が収入からどのくらいの税金を納めることができるかを考え、その金額と理由をワークシート（課題1）の②、③に記入する。</li> <li>・グループ内で、各人が決めた納める税金の額を発表する。</li> </ul> <p>※180万円から20万円を納める生徒や2,000万円から1円も納めない生徒もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々には様々な願いがあることを知る。</li> <li>・自身の税負担を具体的に考えることにより、納税の実感を得る。</li> <li>・言葉で伝えることで自身の価値判断の根拠を自覚する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で、各人が発表した税金の額及び理由について話し合い、納税額についての合意を形成する。</li> <li>各グループが話し合った結果を発表し、全体で意見交換をする。 ※それぞれの税金の額を比べながら、「私より収入が多いのに税金が少ない」、「収入が多いのだから、もう少し納めてほしい。」など、生徒たちは様々な反応を示す。</li> </ul> <p>(3) 税率を計算しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート（課題1）に、各グループで考えた各人が納める税金（②）を収入（①）で割り、それぞれの税率を計算し、④に記入する。</li> <li>グループ内で、各人が計算した④の税率を比較する。</li> <li>税の公平の考え方には、水平的公平と垂直的公平があることを知る。</li> </ul> <p>4 現在の日本の税率について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート（参考：所得税の税率）と（課題1）の④の税率とを比較する。</li> <li>各人の収入には、（参考：所得税の税率）のどの税率が適用されるのかを確認し、（課題2）①の各人の税率に記入する。</li> <li>「税額の計算例」を参考に、納める税金を計算し、（課題2）②の納める税金に記入する。</li> <li>（課題1）②の納める税金と（課題2）②の納める税金を比較する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を聞くことで、異なる視点から物事を見つめ直し、自身の価値判断の根拠についても考える。</li> <li>税の公平には、水平的公平と垂直的公平の考え方があることを示す。</li> <li>水平的公平→等しい負担能力のある人（経済力が同じ人）は等しい負担をする（消費税や個人住民税は、税率は一定だが、課税対象額が多くなるほど税額が多くなる仕組み（比例税率）。令和5年4月現在）。</li> <li>垂直的公平→負担能力の大きい人はより大きな負担をする（所得税や相続税などは、所得など課税対象額が多くなるほど税率が高くなる仕組み（累進税率））。</li> </ul>
まとめ	<p>5 公平な社会とは何かを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの公平の考え方や所得税の税率を知り、改めて各人の税負担や公平な社会の在り方について話し合う。</li> <li>※税率は同じにした方が平等だと思う。その場合でも収入が多ければ納める税金が多くなるのに、税率まで高くするのはおかしい。</li> <li>※収入が多い人は損だと思ってしまうかもしれないが、「助け合いの心」だと思う。</li> <li>※全員が同じ税金を納めるのは金額だけ見れば平等かもしれないけど、収入に応じた負担は平等ではないから、累進税率はよいと思う。</li> <li>※累進税率は賛成だけど、税率のバランスが悪いと思う。もっと高所得者の税率を高くして、低所得者の税率を下げた方がよい。</li> <li>※垂直的公平だと貧富の差がなくなるけど、やり過ぎると真面目に働く人がいなくなるので難しいと思った。</li> <li>※どちらもそれぞれに公平だと思う。それぞれに必要とされる場面が違うので、その場に応じた公平の適用が必要だと思う。</li> <li>※どちらの公平が正しいとか、どちらにすべきというものではないと思う。人によって考え方は違うので、公平というのは難しいなと思った。</li> <li>※両方の公平を上手く組み合わせてバランスを取ることが大事だと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会全体の利益と個の在り方について総合的に考える。</li> <li>「公平な社会とは何か。」について自分なりの見解をもつ。</li> </ul>

### 3 本時②の学習（5／5時間）

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点 教材・資料(☆)
導入	1 前時の復習をする。	

<p>展開</p>	<p>2 「みんなで考えて、税金を納めてくれましたが、人々の願いを全て実現するには税収が足りません。さて、どうしたらよいでしょうか。」</p> <p>3 財政に関する資料を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の財政の現状（深刻な財政赤字の状況や諸外国との税負担の違いなど）を知り、今後の日本の在り方について考え、意見を発表する。</li> </ul> <p>※必要なお金と集まるお金にこれほど差があるとは思わなかった。</p> <p>※税収が全体の半分くらいで、公債に頼っているのはよくないと思った。</p> <p>※少子高齢化に伴い、問題が生じていることは知っていたが、これほど影響が出ているとは知らなかった。</p> <p>※諸外国に比べ税負担は少ないので、もう少し増税してもいいのではないかと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は財政の現状を知らせず、グループの話し合いの中で独自の発想を引き出す。</li> <li>「誰一人取り残さない」というSDGsの理念と照らし合わせながら、解決方法について考える。</li> </ul> <p>☆財務省HP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を聞き、歳入と歳出のアンバランスや諸外国の現状等を知った上で、今後の日本の在り方について改めて考える。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>4 単元を貫く問い（持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。）について、自分の考えを書く。</p> <p>※現役世代にとっては負担&lt;福祉はうれしいけれど、公債によって負担を先送りするくらいなら国のサービスを減らせばいいと思う。</p> <p>※国の現状がよく分かって、国民の一人として真剣に考えていくべきだと思った。</p> <p>※完璧な社会を作り上げることは無理でも、公平な社会を作り上げていかなければならないと思った。</p> <p>※税によるサービスが充実しているのはうれしいし、「誰一人取り残さない」社会をつくるために公共サービスは重要だけれど、借金で負担を先延ばしにしていることを知って少し嫌だった。将来の人に負担を押し付けないためには増税も必要だと思う。</p> <p>※今日の授業を通して、私たちも国民の一人として考え、意見を言うことができるようになってよかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の願いは様々であり、主権者である国民一人一人が社会や政治、税の在り方や使いみちなどに関心を持ち、代表者の選出（選挙）を通してその議論に参加するなど、自ら社会や政治に参画する意識をもつことの大切さを理解する。</li> </ul>

#### 4 評価規準

##### 【思考・判断・表現】

財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務についての理解を基に、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念と照らし合わせながら、その在り方について考察・構想し、表現している。

##### 【主体的に学習に取り組む態度】

社会の一員（税の負担者）として、国・地方公共団体の経済活動と財政に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとしている。

#### 5 まとめ・振り返り(実践を終えて)

- みんなとても熱心にグループ討議を重ね、積極的に発言が出された。中でも、「一部の人が裕福で、一部の人が見捨てられるような国は嫌だ。」「たくさん税金を払っても、それが社会のためになっているのなら頑張ろうと思う。」など、思いやりの心や相互扶助の精神が強く感じられたことが特に印象的であった。
- 他者の立場や社会全体の利益に配慮し、「みんなの生活がよくなるように」という視点で物事を捉える姿勢には感心するものがあった。
- 生徒間の議論を通じ、様々な価値観に触れることで、自分自身の考えについて見直すきっかけにもなったようにも感じられた。
- これからの社会を担う生徒たちに、今後も税を通して社会の在り方について考えるきっかけを与えることができればと思う。

○教材・資料（ワークシート）

（前提）

① 各人の立場	②各人の収入 (所得)	③各人の願い（例）	④③の政策に 必要な予算額
高齢者のAさん	250万円	医療費負担の軽減、介護支援等 ＝高齢社会における社会保障	※6,800万円
育児中のBさん	500万円	子育て支援（児童手当、育児環境 整備）など＝少子化対策	1,600万円
フリーターのCさん	180万円	雇用創出、企業への補助金支給 など＝生活保障と経済効果	3,800万円
企業経営者のDさん	2,000万円	景気回復など＝景気の安定化	7,200万円
災害に遭われたEさん	800万円	住宅確保、インフラの復旧など ＝災害時の社会保障	5,300万円
持病をもっているFさん	350万円	医療費負担の軽減など	(※に含まれる)
介護をしているGさん	1,000万円	介護休暇制度の充実など	(※に含まれる)
合計	5,080万円	—	2億4,700万円

（課題1）

各人の立場	①各人の収入 (所得)	②納める税金	③理由	④税率 (②/①)
Aさん	250万円	万円		%
Bさん	500万円	万円		%
Cさん	180万円	万円		%
Dさん	2,000万円	万円		%
Eさん	800万円	万円		%
Fさん	350万円	万円		%
Gさん	1,000万円	万円		%
合計	5,080万円	万円	—	—

（課題2）※便宜上、収入＝課税所得（収入から  
差し引く経費なし）として計算

各人の立場	①各人の税率	②納める税金
Aさん	%	円
Bさん	%	円
Cさん	%	円
Dさん	%	円
Eさん	%	円
Fさん	%	円
Gさん	%	円
合計	—	

（参考：所得税の税率）※令和5年分

課税される所得金額	税率
195万円以下	5%
195万円超～330万円以下	10%
330万円超～695万円以下	20%
695万円超～900万円以下	23%
900万円超～1,800万円以下	33%
1,800万円超～4,000万円以下	40%
4,000万円超	45%

税額の計算例：課税される所得金額が400万円の場合

- ・195万円×5%＝97,500円
- ・(330万円－195万円)×10%＝135,000円
- ・(400万円－330万円)×20%＝140,000円
- ・97,500円＋135,000円＋140,000円＝372,500円

※税額は、課税所得金額ごとに税率を掛けて計算します。







参考1: 租税教育の体系図(学校段階と授業において取り上げたい要素)






学校段階		小学校(社会)※中学生	小学校(社会)※高学年	中学校(公民的分野)	高等学校(公共)	高等学校(政治・経済)	
育成を目指す資質・能力	知識・技能	・人々の生活との関連を踏まえ、自分たちの住んでいる地域(市や県など)の様子等について理解 ・具体的資料(調査活動、地図帳等)を通して、必要な情報を調べまとめる技能	・国土の地理的環境とそこで営まれている産業の様子、情報化に伴う産業や国民生活の変化について理解 ・我が国の政治の考え方や仕組みや働き、関係の深い国の生活やグローバル化する社会における我が国の役割について理解 ・基礎的資料(地球儀や統計等)を通して、情報を適切にまとめる技能	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解 ・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解 ・諸資料(新聞、年鑑等)から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能	・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解 ・諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能	
	思考力・判断力・表現力等	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力 ・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを表現する力	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力 ・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論する力	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力	・現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力 ・構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力	
	学びに向かう力・人間性等	・主体的に学習の問題を解決しようとする態度 ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度	・主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度	・主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度 ・各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度 ・我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚	
項目	キーワード	授業において取り上げたい要素					
「租税教育」の項目	私たちの生活と税	税の意義・役割・課題	租税の役割	租税の役割と意義	租税の意義と課題	租税の意義と課題	租税の意義と課題
		税の使いみち	私たちの暮らしと税	身近な暮らしと税	税金の使いみち	国民生活と税	国民生活と税
		税の種類	税の種類	税の種類	税の種類・分類	税の種類・分類	税の種類・分類
	よりよい社会と税	国民主権	自分たちで決めたまじりや法を守ることの大切さ	日本国憲法の基本理念である国民主権	・民主主義の基礎にある個人の尊厳と人権の尊重という考え方 ・主権者としての政治参加の在り方	公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚	国民主権を担う公民としての自覚
		納税の義務		納税の義務	私たちの生活と納税の義務	憲法に定められた権利と納税の義務	法の支配(租税法律主義)
		公平な税		税はみんなで分担して納めていること	公平な税の考え方	公平な税の考え方	・公正で適切な負担 ・負担と受益の均衡(応能負担と応益負担)
	政府の経済的役割と税	財政の目的		法令や予算との関わり	政府の経済的役割	政府の経済的役割	国民経済における政府の役割
		財政の現状と課題			国民の受益(福祉・公共サービス)と負担の関係	公債発行と財政赤字	税・財政の課題(財源の調達と配分)
	主権者としての税	これからの社会と税				税に関する仕事	自ら正しい申告・納税をすること(申告納税制度)

(注) 1 URL及びQRコードは、令和5年9月30日現在のものを掲載しています。





2「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。




## ○参考2: 中学校の学習内容と教材化の視点の例



授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料 (URL)	QRコード
	素材	指導上の留意点		
租税の意義と課題	財政を家計に例える	日本の財政を家計に例え、毎年赤字であることや借金の多さに気付き、財政の現状と問題を理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・応用編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page14.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page14.htm</a>)</li> </ul>	
	借金時計	プロジェクター等で借金時計を見ることにより、財政赤字の現状を実感し、財政に対する関心を高めることができるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村HP</li> </ul>	
	歳出又は税がなかったら	社会保障、公共事業、教育、防衛、地方公共団体の財政調整などの歳出項目や、消費税や所得税などの歳入項目を一つ取り上げ、その歳出又は財源がなかったらどのような社会になるかを理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・応用編）」 &lt;歳入&gt; (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page12.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page12.htm</a>)</li> <li>&lt;歳出&gt; (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page13.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page13.htm</a>)</li> </ul>	  
	歴史上の人物の言葉	「税の学習コーナー（応用編）」の税のエピソード・日本編「福澤諭吉と税」（「学問のすすめ」の中で、税は政府と国民との約束であると述べていること）を紹介し、税への関心を高めることができるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・応用編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page06.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page06.htm</a>)</li> </ul>	
税金の使いみち	教育費	公立学校に通う生徒一人当たりの月（年）間教育費の金額の多さに気付き、税が役立っていることが理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・発達編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page06.htm?">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page06.htm?</a>)</li> </ul>	
	外国の消防サービス	費用を払わず消火がされなかった米国テネシー州サウスフルトン市の消防の例を取り上げ、日本の公共サービスの財源を賄う税の役割や納税の義務などが理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（租税教育の事例集）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/kyozai/jireishu/index.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/kyozai/jireishu/index.htm</a>)</li> </ul>	

授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料 (URL)	QRコード
	素材	指導上の留意点		
税金の使いみち	海賊	人気漫画の題材で生徒のイメージしやすい海賊を取り上げ、日本の税金が政府開発援助 (ODA) として海賊対策に使われていることを紹介し、税の用途への関心を高めることができるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外務省HP「開発協力、ODA って何だろう」 (URL:<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html</a>)</li> </ul>	
	ごみ処理	ごみ処理を自宅でする場合 (捨て場所等の問題) と地方公共団体がまとめてする場合 (リサイクル、清掃工場) の費用負担 (令和2年度国民一人当たりのごみ処理経費約19千円)、環境 (健康) への影響の違いなどを考え、環境を守る政治の働きとそれを支える税の役割が理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省HP (一般廃棄物処理実態調査結果) (URL:<a href="https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html">https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html</a>)</li> <li>市区町村HP</li> </ul>	
	税金の使いみち	みんなが納めた税金の使いみちを知ることを通して税金がどのように役立っているのかを気付くよう促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー (学習・応用編)」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page13.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page13.htm</a>)</li> </ul>	
税の種類・分類	レシートの消費税	レシートの消費税を確認し、生徒も消費税を払っていることを示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>レシート</li> </ul>	
	消費税の行方	消費税の行方を調べることにより、税が社会を支えていることに気付くよう促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務省HP (消費税の用途に関する資料) (URL:<a href="https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d05.htm">https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d05.htm</a>)</li> </ul>	
	ノーベル賞、オリンピック・パラリンピック	身近な話題として、ノーベル賞や2020年東京オリンピック・パラリンピックを取り上げ、ノーベル賞の賞金や日本のメダリストの賞金 (報奨金) には、法律により税がかからないことに気づき、税に対する関心を高めることができるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー (Zei君の税金クイズ)」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/about/organization/kantoshinetsu/cgi-bin/quiz/quizindex.cgi">https://www.nta.go.jp/about/organization/kantoshinetsu/cgi-bin/quiz/quizindex.cgi</a>)</li> </ul>	



授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料 (URL)	QRコード
	素材	指導上の留意点		
民主主義の基礎にある個人の尊厳と人権の尊重という考え方	米国独立戦争	「税の学習コーナー（応用編）」の税のエピソード・アメリカ編「アメリカ人の税に対する思い」（税をきっかけとしてアメリカ独立戦争が起こったため、アメリカ人は税の使いみちなどに強い関心をもっている）を紹介し、納税者としての意識を高めることができるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・応用編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page05.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page05.htm</a>)</li> </ul>	
主権者としての政治参加の在り方	選挙の争点	選挙の争点は、税に関わるものや税を必要とするものが多いことに気付き、政治の働きの費用を賄う税の意義や役割、必要性を理解できるように指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省HP「小・中学校向け主権者教育指導資料『主権者として求められる力』を子供たちに育むために」の抜粋 (URL:<a href="https://www.mext.go.jp/content/220922-mxt-kyoiku01-000025143_8.pdf">https://www.mext.go.jp/content/220922-mxt-kyoiku01-000025143_8.pdf</a>)</li> </ul>	
私たちの生活と納税の義務	生徒の一日の生活	「マリンとヤマト 不思議な日曜日」などを視聴し、一日の生活の例を通して身近な生活と税の関わりに気付き、安全、安心で豊かな生活など、みんなの願いが地方公共団体や国の働きによって実現されていること、その働きの費用は税で賄われていることを示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（マリンとヤマト 不思議な日曜日）」 (URL:<a href="https://youtu.be/MivtD3Hh16M">https://youtu.be/MivtD3Hh16M</a>)</li> </ul>	
	会社員の一日	会社員の一日の生活の例を通して、生活と税との関わりに気付き、税の種類を理解できるように指導する。 ＜家＞住民税（住むこと）、固定資産税→＜会社＞法人税、所得税（給料）→＜外出＞自動車税、ガソリン税（揮発油税）、消費税（買い物）、相続税（葬儀場）→＜帰宅＞酒税、たばこ税など	<ul style="list-style-type: none"> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（ご案内します アナザーワールドへ）」 (URL:<a href="https://youtu.be/OV4Pvw6PCnU">https://youtu.be/OV4Pvw6PCnU</a>)</li> </ul>	
私たちの生活と納税の義務	1万円札	予算額や借金を1万円札で積み上げた場合の高さを富士山の高さなどと比べて大きさが理解できるように指導する（100万円が約1cm、1億円が約1m、1兆円が約10km。積み上げた1万円札を横にすれば〇〇駅～〇〇駅間の直線距離〇〇kmと同じなど）。		

授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料 (URL)	QRコード
	素材	指導上の留意点		
私たちの生活と納税の義務	街づくりゲーム	「税の学習コーナー」の「みんなで話し合っ街を作ろう！」の街づくりゲームを通して、税金が使われている施設・使われていない施設、予算が足りなくなった場合の対応などを考えるよう導く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国税庁HP「税の学習コーナー（みんなで話し合っ街を作ろう！）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/about/organization/osaka/education/machigame/index.htm">https://www.nta.go.jp/about/organization/osaka/education/machigame/index.htm</a>)</li> </ul>	
	諺「年貢の納め時」	<p>諺を紹介。意味を紹介し税について理解できるように指導する（隠れて耕作していた田が見つかり、ごまかしていた年貢を納めなければならなくなったときなどを意味していたが（今でいう「脱税」）、悪事が見つかり刑に服さなければならないときなどに使われるようになった。）。</p> <p>→諺から、昔、税金は年貢であったことに気付かせる。</p> <p>→諺から、税金は「取られる」ではなく、「納める」という言い方をすることを示す。</p> <p>→現在、所得税など国税では、自ら正しい申告と納税を行う申告納税制度が採られていることを示し、それを支える税に関する仕事や税務行政の取り組みを紹介する。</p>		
公平な税の考え方	税率の仕組み	所得税や相続税などの累進税率や、消費税・個人住民税などの比例税率（税率は一定だが、課税対象額が多くなれば税額が多くなる。令和5年4月現在）の仕組みを通して、垂直的・水平的な公平の考え方があることを示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国税庁HP「税の学習コーナー（学習・発展編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page02.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page02.htm</a>)</li> </ul>	
政府の経済的役割	税のない生活	「ご案内します アナザーワールドへ」などを視聴し、税がなかったらどのような生活に変わってしまうのかを考えを地方公共団体や国の働き、その費用を賄う税の必要性を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国税庁HP「税の学習コーナー（ご案内します アナザーワールドへ）」 (URL:<a href="https://youtu.be/OV4Pvw6PCnU">https://youtu.be/OV4Pvw6PCnU</a>)</li> </ul>	

授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料 (URL)	QRコード
	素材	指導上の留意点		
国民の受益（福祉・公共サービス）と負担の関係	社会保障費と教育費	国民医療費などの社会保障関係費と教育費（文教及び科学振興費）を比べ、社会保障関係費の大きさ（多さ）に気付くよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務省HP「日本の『財政』を考えよう」 (URL:<a href="https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202304_zaisei.pdf">https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202304_zaisei.pdf</a>)</li> <li>国税庁HP「税の学習コーナー（学習・発展編）」 (URL:<a href="https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page04.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page04.htm</a>)</li> </ul>	  

# ○国税庁ホームページ「税の学習コーナー」の紹介

検索サイトで **税の学習コーナー** を入力

- ・ 学習ページ（入門編、発展編、応用編、実践編）
  - ・ 租税教育用教材（租税教育の事例集、教材（パワーポイント・PDF）、講師用マニュアル、ワークシート）
    - ・ ビデオライブラリー
    - ・ ゲーム
    - ・ クイズ
  - ・ 税の作文（受賞者発表など）
  - ・ 各国税局学習コーナー
- などを掲載していますので、御活用ください。

(URL)

<https://www.nta.go.jp/taxes/kids/index.htm>



# ○監修

事例集の作成に当たり、以下の方々に御指導、御協力を賜りました。

(敬称略。学校名・職名などは監修依頼時。)

## 【平成 27 年 4 月発行版】

- |                  |     |     |
|------------------|-----|-----|
| ・ 和歌山大学准教授       | 岩 野 | 清 美 |
| ・ 埼玉県立川越初雁高等学校教諭 | 池 田 | 美友貴 |
| ・ 横浜市立丸山台小学校教諭   | 大久保 | 房 代 |
| ・ 東京都立国際高等学校教諭   | 宮 崎 | 三喜男 |
| ・ 大阪市立蒲生中学校校長    | 吉 信 | 勝 之 |

## 【令和 5 年 11 月改訂版】

- |                  |     |     |
|------------------|-----|-----|
| ・ 和歌山大学准教授       | 岩 野 | 清 美 |
| ・ 横浜市立六つ川小学校教諭   | 大久保 | 房 代 |
| ・ 慶應義塾横浜初等部教諭    | 白 井 | 敦 子 |
| ・ 山脇学園中学校教諭      | 中 田 | 成 昭 |
| ・ 東京都立田園調布高等学校教諭 | 宮 崎 | 三喜男 |